

科目ナンバリング		U-LAS01 10009 LJ38							
授業科目名 <英訳>	西洋史II Western History II				担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授 福元 健之			
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	歴史・文明(基礎)			使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2026・後期		曜時限	火5/木3		配当学年	全回生	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
<p>政治や社会に歴史があるように、医療にも歴史がある。今日の医学は、諸科学の中で最も社会的に信頼のおかれる学問の一つであるが、その時代ごとにかたちを変えてきた。そして、その変化から歴史を読み解くこともできるし、政治や社会の歴史では見えてこないことも多くそこに含まれる。</p> <p>本講義では、医療史の観点から西洋近現代史を中心に論じる。その内容は、大きく3つにまとめられる。まず第二回から第五回までは、全体の前提となる事柄を扱う。それをもとに、第六回から第九回まで、政治と医療の関係について取り上げる。そして、さらにそれらを踏まえて、第一〇回から第一四回までは、講義者が現在取り組んでいる研究の成果を還元する。</p>									
[到達目標]									
<p>医療史の観点から、西洋史の基礎知識を理解する。それを通じて、近代的な身体観や健康観を相対視することができるようになる。</p>									
[授業計画と内容]									
<p>授業回数はフィードバックを含めて全15回とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．イントロダクション 2．古代の身体観・健康観 3．医療の多元性 4．コレラと公衆衛生 5．天然痘とワクチン 6．身体の国民化 7．性に関する科学 8．ファシズムと医療 9．コロニアリズムと医療 10．よみがえる古代 11．「人工」太陽 12．保養地での医療 									
----- 西洋史II(2)へ続く -----									

西洋史II(2)

13．森とサナトリウム

14．啓蒙とその「効用」

15．フィードバック

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

期末筆記試験（100点）で評価する。論述形式で、講義内容の理解や、設問に対する解答の論理性および独創性を評価する。

【教科書】

授業中に指示する

授業中に資料を配布する

【参考書等】

（参考書）

授業中に紹介する

【授業外学修（予習・復習）等】

予習・復習は、授業で配布した資料を利用するとよい。授業中に紹介する文献や、図書館で関連する文献を自分でみつけ、読んでみることで、理解をさらに深めることができる。

【その他（オフィスアワー等）】

【主要授業科目（学部・学科名）】